



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成23年度学校だより 第3号
2011年 6月28日

梅雨の季節も本番を迎え、色とりどりのあじさいが玄関を飾っています。中庭に目を移せば、数多くの草花たちが私たちの目を楽しませ、たくましく伸びゆく姿を通して、勇気と希望を与えてくれます。

草や木の生長にとって、なくてはならないのが、雨の日であり、また晴れの日です。どちらもちょうどよいバランスで繰り返されると、幹や枝は太くなり、葉は勢いよく茂ります。もし、雨の日が続けば根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも水分がなくなって枯れてしまいます。このように、植物の生長には、反対のもの、つまり陰と陽が必要だと言えます。

子どもたちの心の成長にも同じことが言えそうです。私は、それは“やさしさ”と“きびしさ”のバランスだと思っています。子どもたちは、“やさしさ”だけでは甘えが出たり、わがまを言ったりして健全な心は育ちません。また逆に、“きびしさ”だけでも気持ちがすさんで卑屈になったり、いらいらしたりして心は育ちません。私たちは、子どもたちの言動をしっかり見守りながら、機会を逸することなくきびしく諭したり、やさしく褒めたりすることが大切だと思います。

子どもたちは、未熟な故に時々過ちを犯してしまうことがあるでしょう。その時には、きびしく過ちを指摘し、理由を明確にして諭すことが必要です。反対に、よいことに対しては、その価値を認めてやさしく心から褒める。このような陰と陽の繰り返しを通して、子どもたちは的確な判断を学んでいくのだと思います。これは、集団の一員として、また社会の一員としての自覚を持った言動ができる人間を育てるための指導の基本だと信じています。

楽しみにしていた水泳練習の開始

子どもたちが、待ちに待っていた水泳練習が始まりました。残念ながら6月1日（水）の「プール開き」の日は、雨天の上気温も低かったため、初泳ぎができませんでした。しかし、体育館で行った行事では、各学年ごとに学級の達成目標を発表し合うなどして、がんばりを誓い合いました。

また今年も、観音寺市教育委員会のお計らいで、プールのペンキを塗り替えていただきました。そのため、水がとてもきれいに見えて、大変気持ちよく練習することができています。

現在、5・6年生の希望者は、7月21日（木）の市内水泳記録会に向けて放課後の特別練習に参加しています。水温や気温が上がらない肌寒い日が続いていますが、冷たいプールの中で自分の記録に挑戦しています。



三世代交流ふれあい奉仕活動



裏面もご覧下さい

6月4日（土）、観音寺東公民館区青少年育成会主催の「三世代交流ふれあい奉仕活動」が行われました。各老人会やPTAを代表して参加された約50名の方が、約2時間校庭の除草作業をしていただきました。みなさんのおかげで、学校中がとてもきれいになりました。子どもたちには、6日（月）の全校集会の折、写真を見せたり話をしたりして、当日の作業の様子や地域の皆様のお気持ちを伝えました。

ご協力・ご支援、本当にありがとうございました。

大切にしたい親子のふれあい

本校では、子どもたちの自尊感情を高めるための指導として、毎月の第一・第三日曜日を「東小家庭の日」「子どもをギュッと抱きしめる日」として名付けるなど、親子がふれあう機会を意図的に作っています。この取り組みは、保護者や子どもたちには大変好評で、成果も見え始めました。

また6月19日(日)には、学級PTA部会の事業である「親子ふれあい活動」も行われました。6つのコースに分かれての活動でしたが、役員の皆様の運営や、講師の先生の効果的な指導のおかげで、親子の温もりを感じ合えた価値ある体験活動となりました。



<お菓子づくり>



<マジック>



<フラワーアレンジメント>

<昔の遊び>

<絵手紙>

「つり」は、悪天候のため中止になり、ビデオ視聴で楽しみました。

屋島集団宿泊学習

「自立」と「感謝」を合言葉に、5年生が屋島少年自然の家を利用して、6月21日(火)と22日(水)の二日間、集団宿泊学習を実施しました。この二日間は、奇跡的にも梅雨の晴れ間となり、予定通りのプログラムを消化することができました。一日目のカッター訓練やキャンプファイヤー、二日目のいかだづくりなど初めて体験する楽しい活動が中心でしたが、「入所のつどい」や「夕べのつどい」などのセレモニーでは、読み原稿なしで自分の思いをみんなの前で堂々と語った子どもたちの姿が数多く見られ、とても頼もしく感じましたし嬉しくもなりました。



「1秒の言葉」 香川県教育委員会西部教育事務所発行の「無一塵」から抜粋

「はじめまして」	この1秒ほどの短い言葉に	一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」	この1秒ほどの短い言葉に	人の優しさを知ることがある
「頑張って」	この1秒ほどの短い言葉で	勇気が蘇ってくることもある
「おめでとう」	この1秒ほどの短い言葉で	幸せに溢れることがある
「ごめんなさい」	この1秒ほどの短い言葉に	人の弱さをみることもある
「さようなら」	この1秒ほどの短い言葉が	一生の別れになることもある

1秒に喜び 1秒に泣く

(小泉吉宏 セイコー社のCMより)

一生懸命 1秒

「おはよう」「大丈夫?」「いただきます」「ごくろうさま」・・・。たった1秒の言葉が、学校を優しい空間にします。少しくらいしんどいことがあっても、明日も行きたい学校にします。